

葛飾区都市計画マスタープラン の改定にかかる 第1回地域別勉強会

葛飾区 都市計画課
令和3年12月12日



本日の流れ

1. 開会

2. 座学①【15分】

- ・葛飾区都市計画マスタープランについて

3. 基調講演【50分】

- ・都市マスと地域別まちづくり構想

東京都立大学・首都大学東京 名誉教授／中林 一樹 氏

- ・地域主体のエリアマネジメントとプレイスメイキング

日本大学 工学部建築学科 助教／泉山 墨威 氏

4. 座学②【15分】 休憩10分

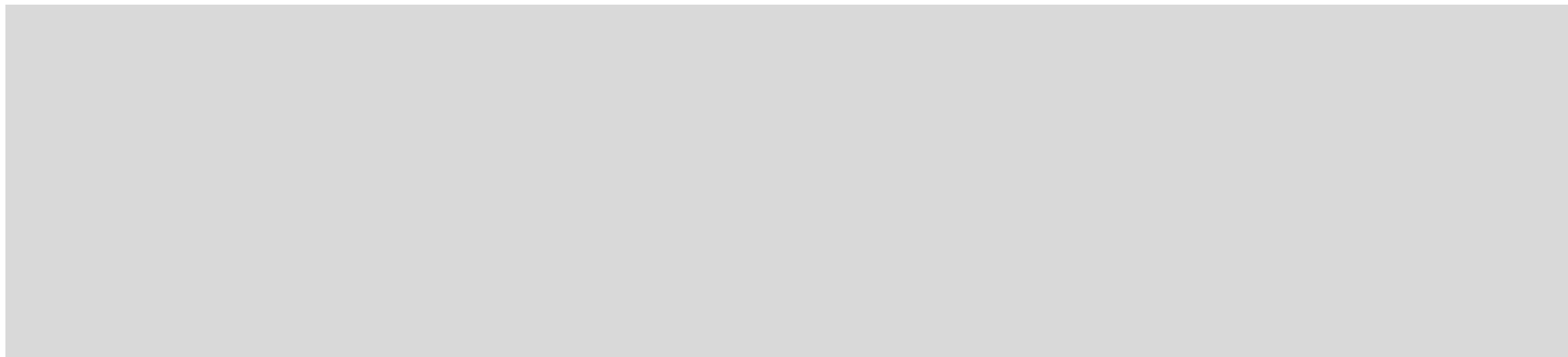
- ・地域別勉強会の進め方と各地域の特徴

5. グループワーク【40分】

- ・地域の魅力や課題の抽出

6. 閉会

開会



座学①

葛飾区都市計画マスタープランについて

都市計画マスタープランについて

葛飾区では、都市整備（主にハード分野）にかかる事業を中心に、都市計画マスタープランに記載されていることを実現するために取り組んでいます。

駅前再開発



ベルトーレ金町

文化・レクリエーションの拠点整備



水元スポーツセンター公園

魅力ある川への整備



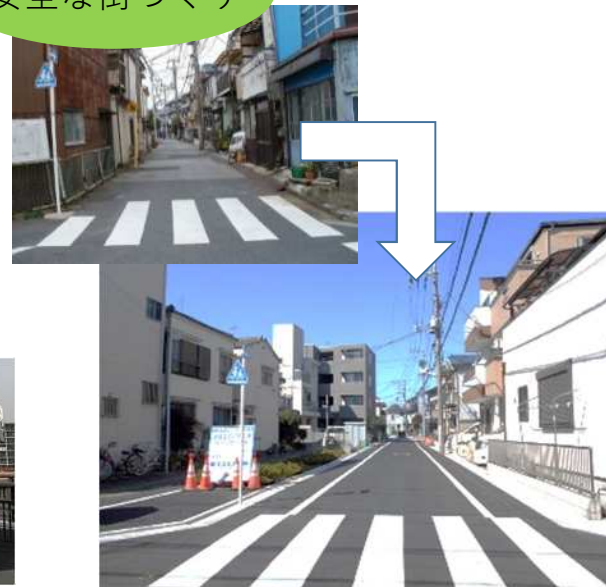
中川親水テラス

公共交通網の充実



細田循環バスの運行

安全な街づくり



木造住宅密集地域の改善



鉄道立体交差事業

利便性の向上

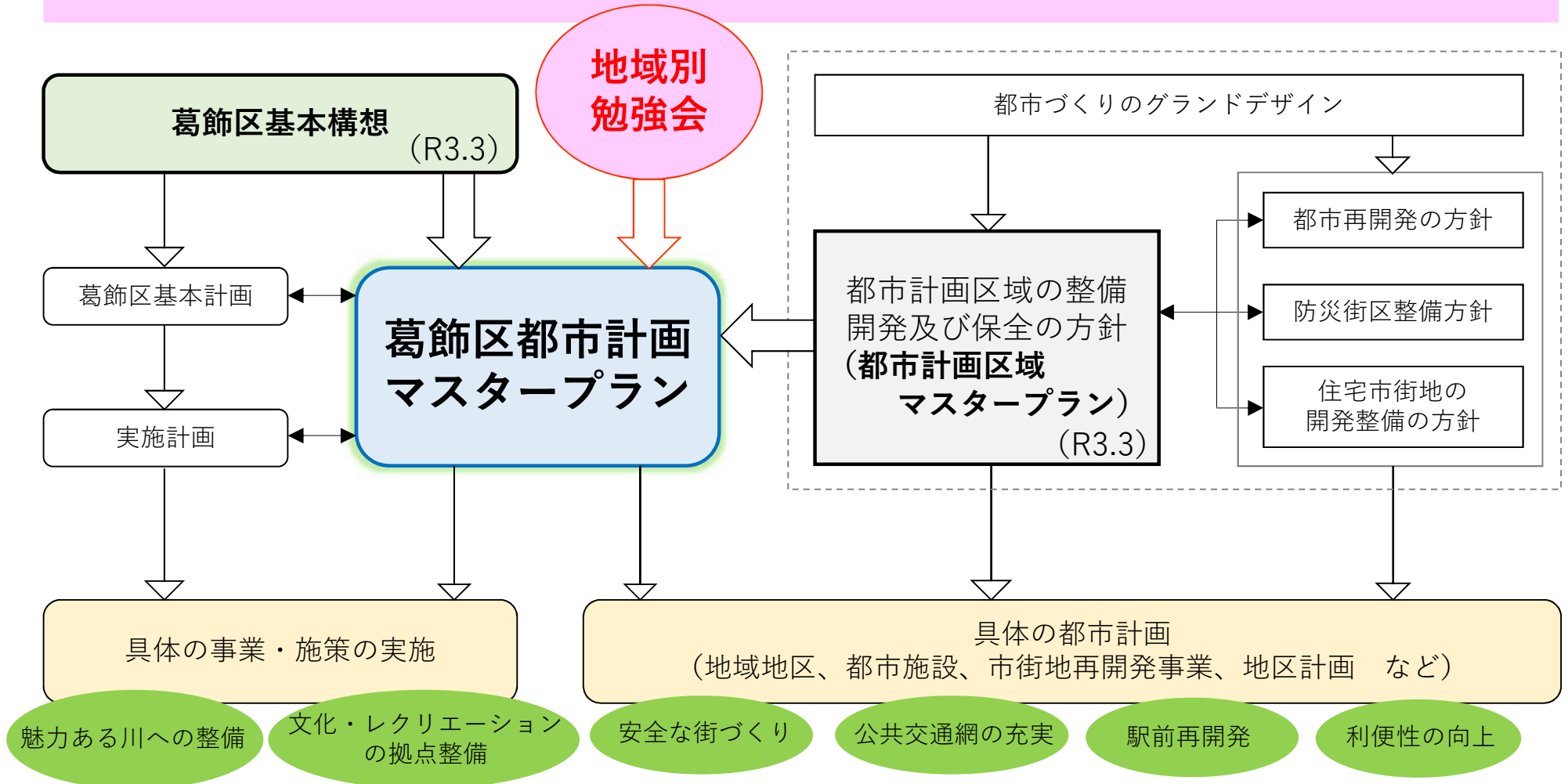


新小岩駅南北自由通路

都市計画マスタープランは、都市計画法を根拠として、葛飾区基本構想や東京都の都市計画区域マスタープランに即して、都市計画に関する基本的な方針として策定していきます。
 その際、住民の意見を反映し、地区別のあるべき市街地像、整備課題に応じた整備方針などを定めることとされています。

都市計画法第18条の2（抜粋）

：基本方針を定めようとするときは住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする

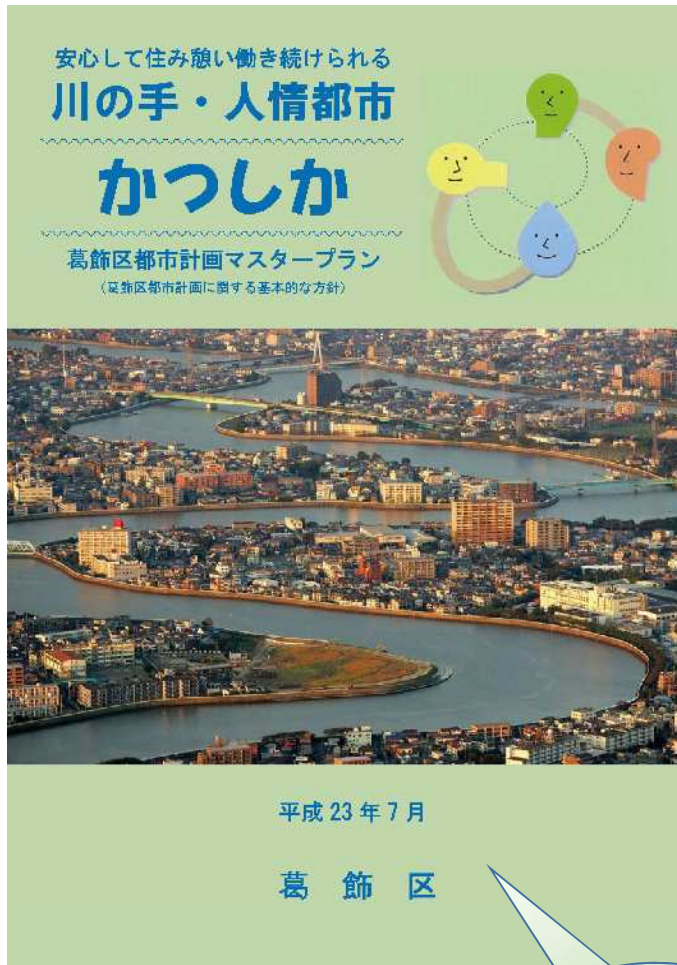




現在の葛飾区都市計画マスタープランについて



現在の葛飾区都市計画マスタープランは平成23年7月に策定し、1 都市計画マスタープランの基本方針、2 全体構想、3 地域別構想、4 都市計画マスタープラン実現の方策、で構成されています。



1 都市計画マスタープランの基本方針

○まちづくりの基本理念 ○まちづくりの目標 ○将来都市構造

分野別の
整備の方針

2 全体構想

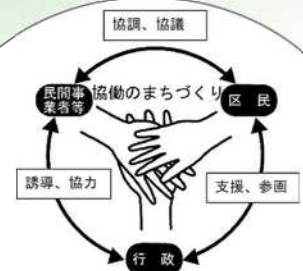
○川の手・人情都市かつしかを形成する方針 ○都市構造整備の方針

3 地域別構想

- 水元地域
- 金町・新宿地域
- 亀有・青戸地域
- 立石・四つ木地域
- 柴又・高砂地域
- 南綾瀬・お花茶屋・堀切地域
- 奥戸・新小岩地域

地域特性に
応じた将来像、
整備の方針

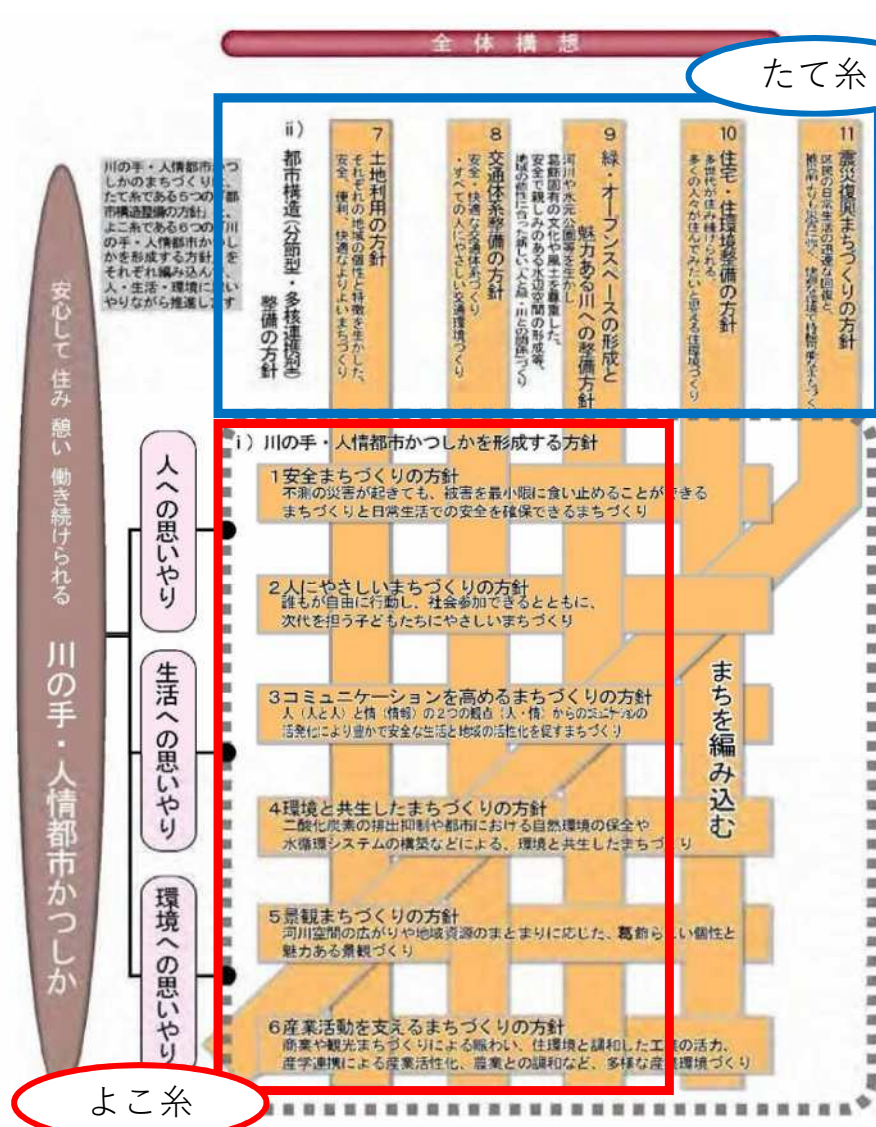
4 都市計画マスタープラン実現の方策



三者協働による
パートナーシップ
のまちづくり

目標年次
平成42年
(令和12年)

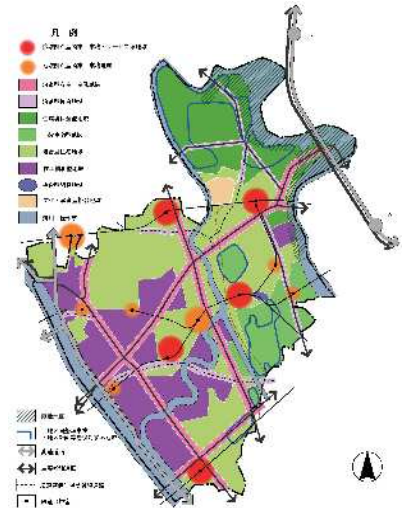
11の方針を定め、都市構造整備の方針を「たて糸」、川の手・人情都市かつしかを形成する方針を「よこ糸」に見立て、「まちを編み込む」イメージで、人・生活・環境に思いやりながら、都市整備を推進していくことを表現し、分野別のまちづくりの方針図などを掲載しています。



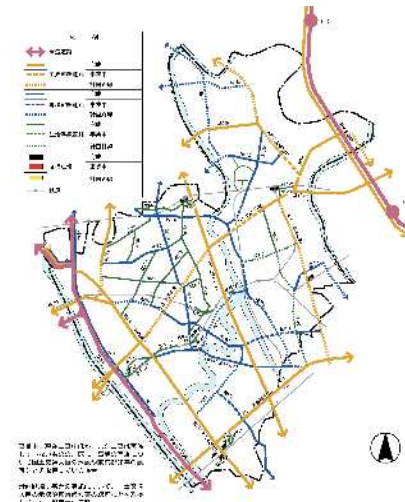
まちづくりの基本方針の概念



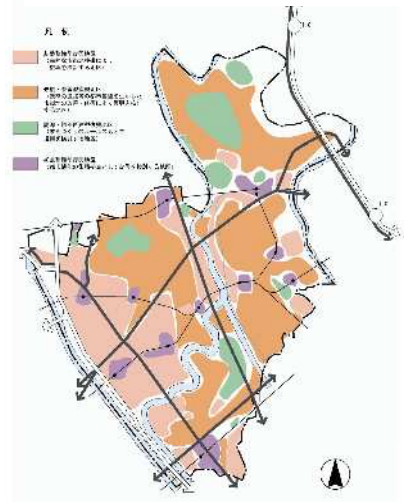
安全まちづくりの方針図 (震災)



土地利用方針図



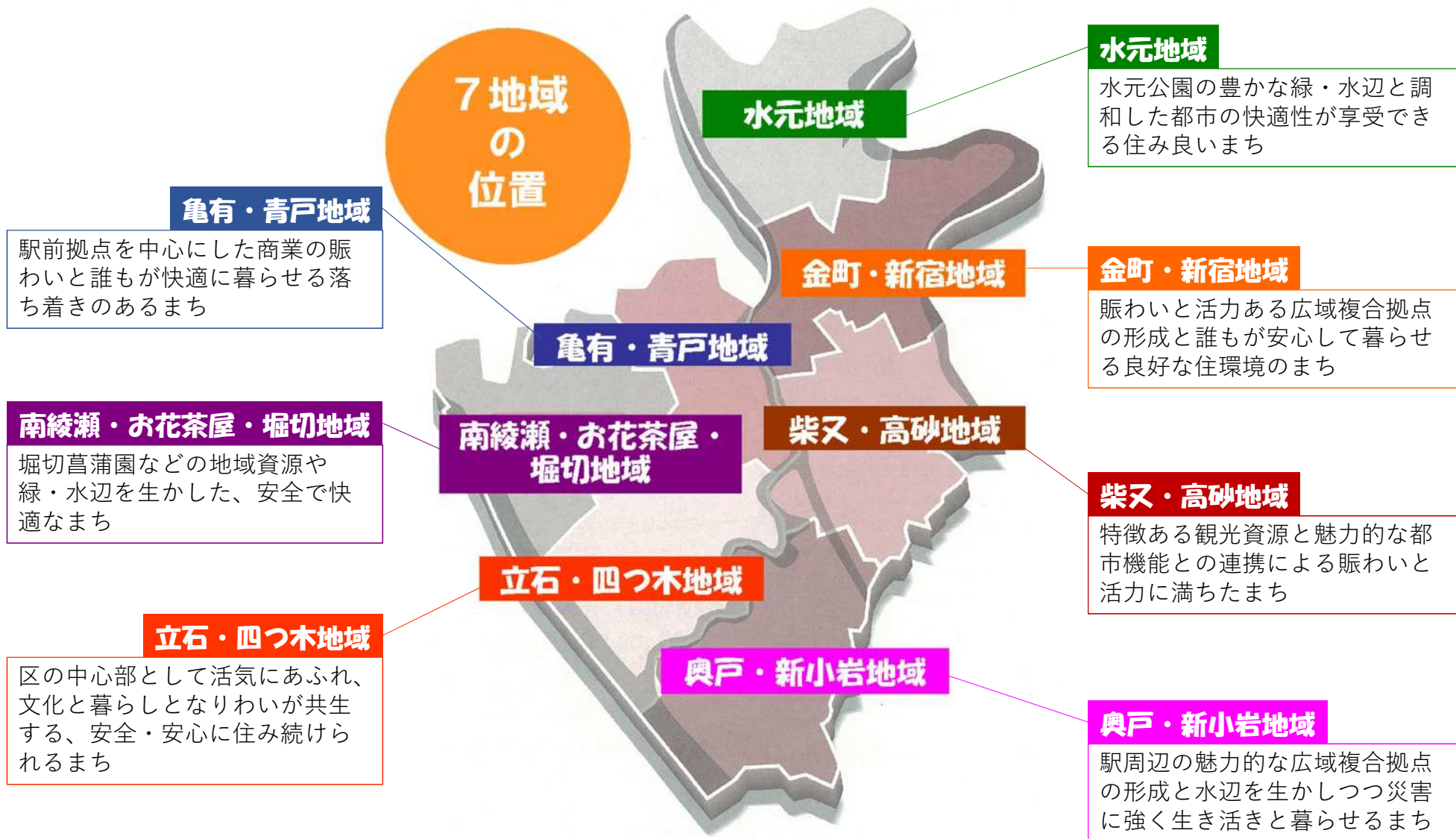
道路網の整備方針図



震災復興まちづくり方針図

分野別のまちづくりの方針図 (抜粋)

地域別構想として、かつての出張所の所管区域であった7つの地域分けをもとに、地域別の将来像や方針を掲げています。地域別構想は、今回の地域別勉強会における主な検討部分です。



地域別構想 (抜粋)

葛飾区都市計画マスタープランの進捗状況

東立石、四つ木、東四つ木、堀切地域では、災害時の避難・救助・消火活動を円滑に行えるよう、狭い道路の拡幅、公園の整備や不燃化建築物への建替えを進め、「不燃領域率（目標70%）」が平成25年度から4.2%~8.6%上昇し、防災性の向上と居住環境の改善が進みつつあります。

- 木造住宅密集地域
- 整備地域
- 重点整備地域

**堀切二丁目周辺
及び四丁目地区**
不燃領域率 **4.2%UP**
50.0% ⇒ 54.2%
(H25) (R1)

東四つ木地区
不燃領域率 **5.8%UP**
47.0% ⇒ 52.8%
(H25) (R1)



四つ木一・二丁目地区
不燃領域率 **8.6%UP**
56.4% ⇒ 65.0%
(H25) (R1)

東立石四丁目地区
不燃領域率 **6.5%UP**
54.7% ⇒ 61.2%
(H25) (R1)

【葛飾区の木造住宅密集地域】

不燃領域率
：市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると延焼による焼失の危険性はほぼゼロとなる。



(事業前)



(事業後)

【主要道路の拡幅整備】



【ポケットパークの整備】

金町駅周辺では、東京理科大学の開設や葛飾にいじゅくみらい公園の整備、駅南口再開発や北口周辺の街づくりが進展し、駅を中心とした都市基盤や都市の機能の充実を進めています。また、立石駅や新小岩駅周辺でも、再開発事業を契機として、活気と賑わいのある拠点の形成を進めています。

金町駅周辺



【東京理科大学・にいじゅくみらい公園】



【ベルトレーレ金町】



【東金町一丁目西地区イメージ】

立石駅周辺



H25.7

写真は東京都建設局HPより抜粋

R3.2

【押上線連続立体交差事業】



【立石駅北口地区交通広場イメージ】



【立石駅南口東地区イメージ】

新小岩駅周辺



【新小岩駅南北自由通路】



【新小岩駅南口地区イメージ】

都市計画道路整備率は年々向上し、23区中10位と、23区平均を上回る水準となっています。公共交通については、バス社会実験によりバス路線が増えたほか、バス利用者用の自転車駐輪場の整備、バス停のベンチ・上屋、バスロケーションシステムなどの整備費助成に取り組んでいます。また、駅周辺における自転車駐車場の整備や、自転車歩行者道、自転車専用通行帯、自転車ナビマークの整備により、自転車走行空間の確保を進めています。

【都市計画道路の都市間比較（整備率の高い順）】

順位	区名	計画延長 (km)	整備済延長 (km)	整備率 (%)
1	千代田区	63.42	55.63	87.7
2	中央区	57.95	50.53	87.2
3	台東区	42.82	36.36	84.9
4	江東区	119.04	99.27	83.4
5	渋谷区	69.86	57.07	81.7
6	足立区	185.33	147.90	79.8
7	江戸川区	146.40	116.67	79.7
8	港区	108.85	82.23	75.5
9	板橋区	93.19	67.59	72.5
10	葛飾区	99.28	69.83	70.3
11	荒川区	37.85	26.60	70.3
12	品川区	91.88	63.49	69.1

順位	区名	計画延長 (km)	整備済延長 (km)	整備率 (%)
13	新宿区	85.01	58.27	68.5
14	豊島区	45.86	31.04	67.7
15	北区	63.80	40.89	64.1
16	目黒区	38.02	23.39	61.5
17	墨田区	56.01	34.19	61.0
18	文京区	42.74	24.58	57.5
19	中野区	42.33	22.70	53.6
20	世田谷区	158.74	83.56	52.6
21	大田区	124.07	64.93	52.3
22	杉並区	90.18	46.88	52.0
23	練馬区	121.64	62.43	51.3
区 部		1,984.27	1,366.03	68.8



【都市計画道路の整備】

都市計画道路を整備することで、まちなかの交通処理だけでなく、市街地の形成や防災性の向上など、住民が安全・安心で快適に暮らすための様々な効果が得られます。

国土交通省「都市計画現況調査（平成31年3月31日現在）」



【バス利用者用の自転車駐輪場】



【バス停下屋・ベンチ】

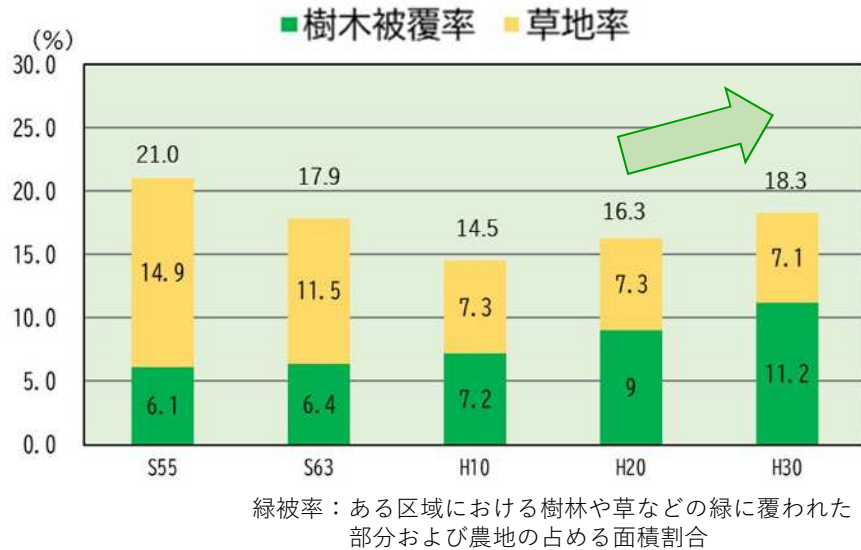


【バスロケーションシステム】

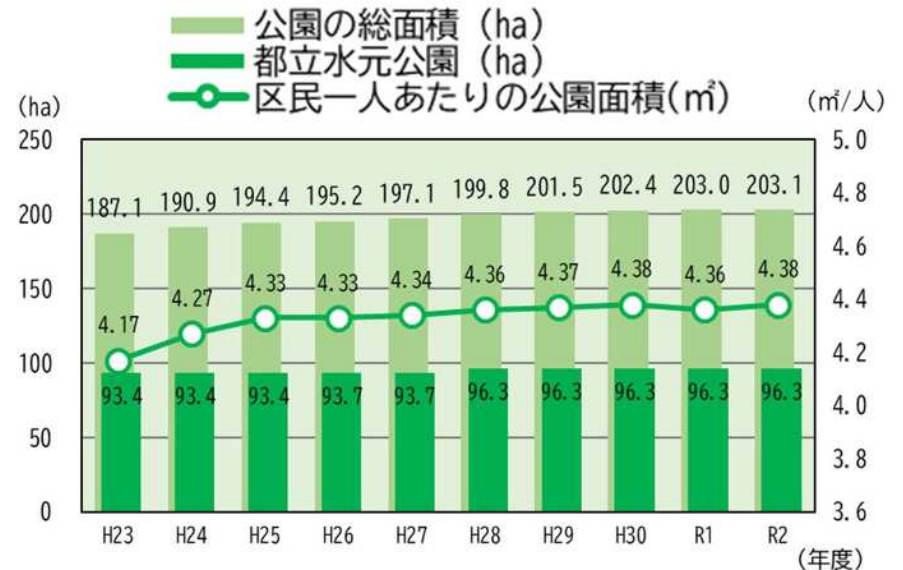


【自転車専用通行帯】

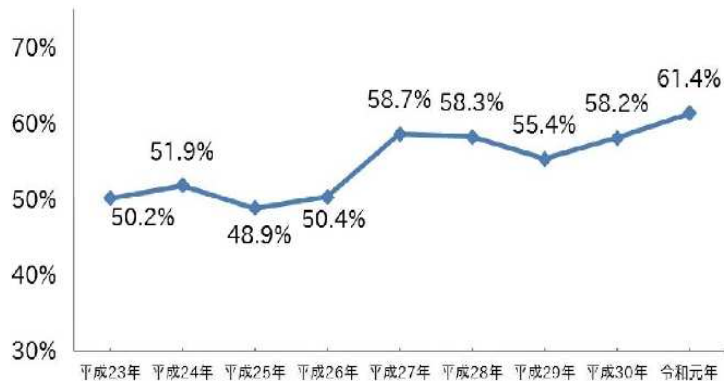
樹木や草地などの緑によって覆われた面積割合（緑被率）は、区全体で18.3%と、都市計画マスタープランの目標値である16.3%の維持を上回って増加しています。
 公園総面積は、H23年度から約16ha増加し、一人当たりの公園面積は約4.38㎡と微増傾向です。
 水の拠点や親水テラスの整備を進め、河川などの水辺が親しめる、と思う区民の割合は増加しています。



【緑被率の推移】



【公園総面積及び1人当たりの公園面積】



【河川などの水辺が区民にとって親しめる空間となっていると思う区民の割合】



【中川親水テラス】



【奥戸一丁目鬼塚公園】

震災後の迅速かつ円滑な復興を目的として、住民・行政・専門家が、震災被害を想定した復興過程を疑似体験し、地域特性を踏まえた復興の進め方を考える震災復興まちづくり模擬訓練を進めています。これまで、各自治町会の協力を得て、区内自治町会連合会19地区のうち、8地区で模擬訓練を実施しました。



①【復興について学ぶ】



④【訓練成果の共有】



②【課題の確認と魅力の発見】



③【テーマ別のグループワーク】

お花茶屋地区復興まちづくり計画(骨子案)
 ~多世代が集える安心安全なつるおいのあるまち~

お花茶屋1・2・3丁目
 商店街面による狭い道路(4m未満)の解消と建築物を密接にいくい建物に改善

車道切3丁目等の農地・空地
 車道切3丁目を中心に農地・空地の活用による臨時の住居地、災害公営住宅、仮設店舗等の用地を確保

災害公営住宅の整備(仮設)と「災害公園」

①木造住宅密集市街地の改善と水害対策

②延焼遮断帯の形成

③復興拠点の整備

④都市計画道路の整備

⑤夜状化対策

⑥みどりの緑を活かした回遊性の確保

⑦商店街のにぎわいづくり

⑧商店の早期再開に向けた仮設店舗の設置

⑨共同化と子育て支援機能等の集約・整備

令和2年度
 お花茶屋地区
 震災復興まちづくり訓練の
 成果です!

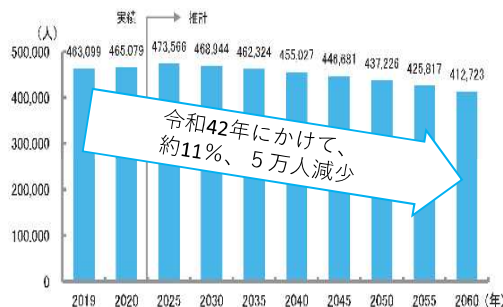
⑤【地区の復興手順書やまちづくり計画を作成】

訓練 実施 地区	平成 16年	20年	26年	28年	29年	30年	令和 2年	3年
	新小岩 地区	堀切 地区	東金町 地区	東四つ木 地区	奥戸 地区	新宿 地区	お花茶屋 地区	水元 地区

葛飾区都市計画マスタープラン改定の方向性

上位計画である東京都都市計画区域マスタープランや葛飾区基本構想・基本計画でも提起され、葛飾区における都市づくりにも深く関連する潮流として、大きく4つ挙げられます。

人口減少・少子高齢化の進展、ライフスタイルや価値観などの変化



葛飾区の将来人口推計



ライフスタイルの変化に対応した都市機能誘導



デジタル技術による変革(DX)の活用

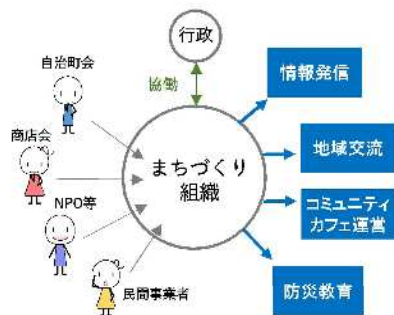
激甚化、頻発する様々な災害



令和元年台風19号の影響により増水した荒川 (R1.11.5広報かつしか)

住民・事業主・地権者等が主体の取組の推進

■エリアマネジメント体制のイメージ



金町まちづくりプラン (R3.6)

■エリアマネジメント取組事例 (神奈川県海老名市)



出典) 一般社団法人海老名市町エリアマネジメント

SDGs*を踏まえた取り組みの推進



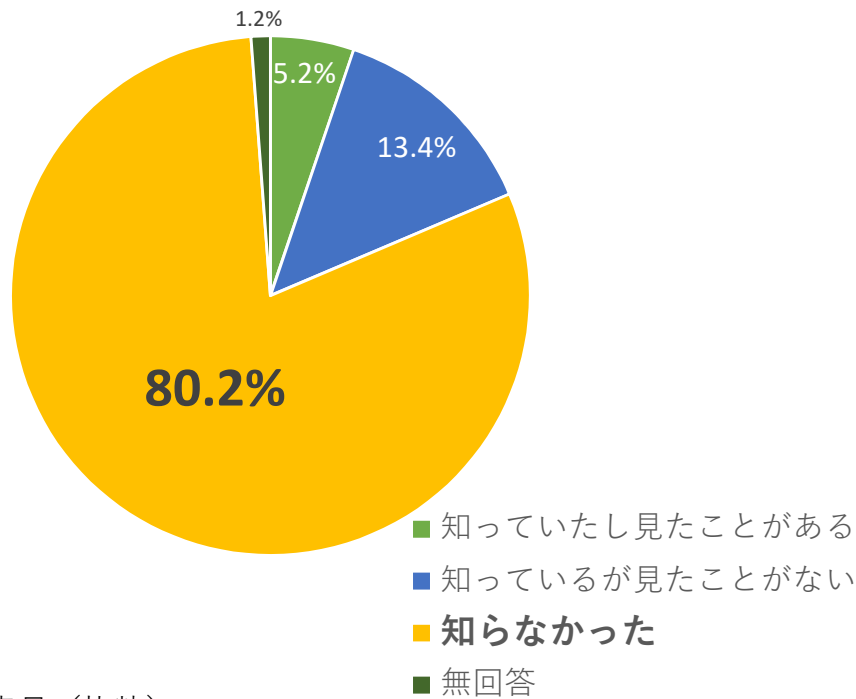
* Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

: 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

都市計画マスタープランについて、8割以上の方が「知らなかった」と回答し、自由意見では、「分かりづらい」、「いくつかまとめてコンパクトに」といった意見がみられました。

11のまちづくりの方針の重要度について、「きわめて重要だ」との回答は、1位：安全まちづくりの方針、2位：震災復興まちづくりの方針、3位：交通体系整備の方針の順で、過半を超えました。

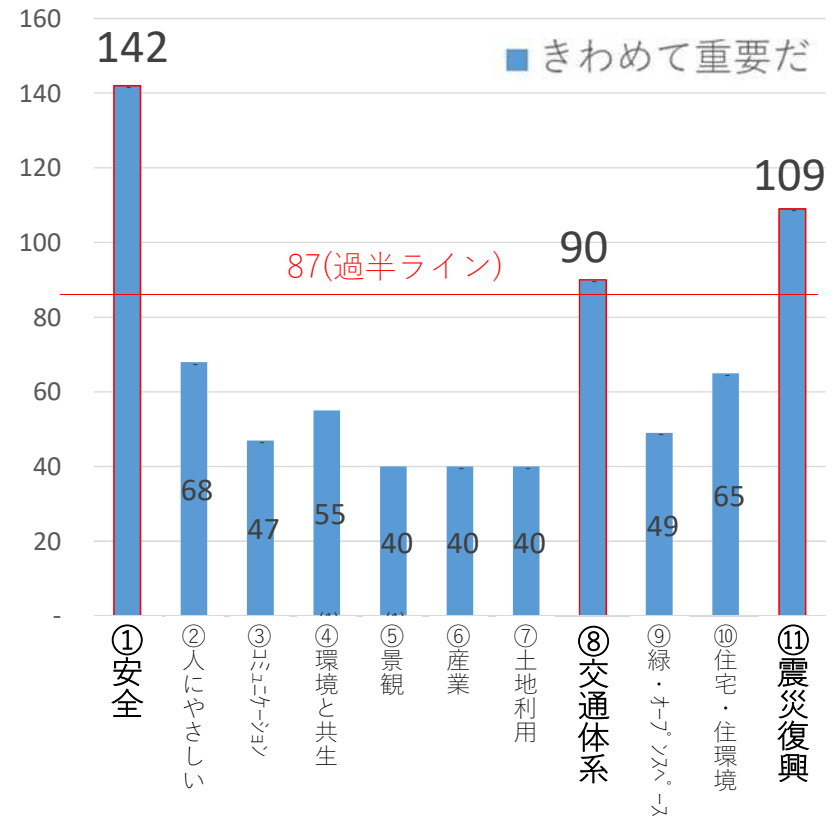
①都市計画マスタープランを知っていますか？



自由意見（抜粋）

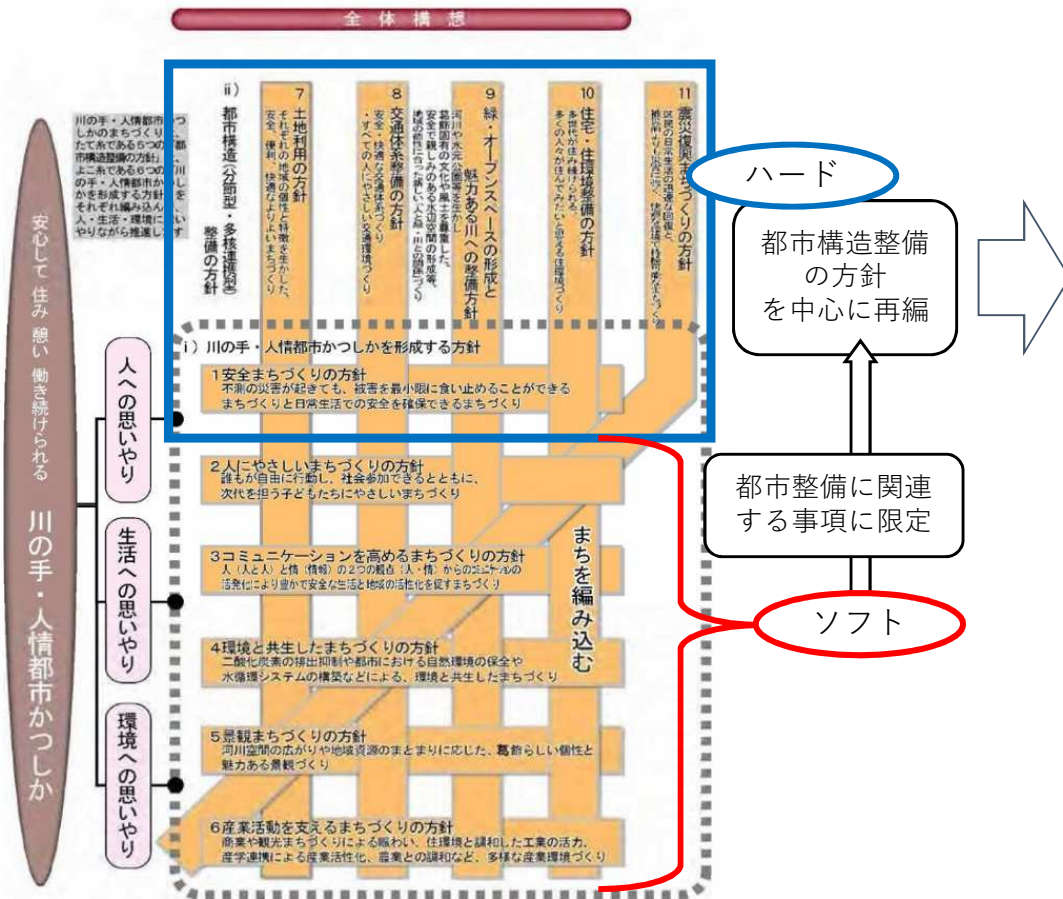
- なんか分かりづらい。あんまり響いてこない。
- 視覚的に分かりやすくまとめたものをいろんな形で発信してほしい。
- テーマを決めて、いくつかまとめてコンパクトにして出すのがいいと思う。

②11のまちづくりの方針はどの程度重要か？



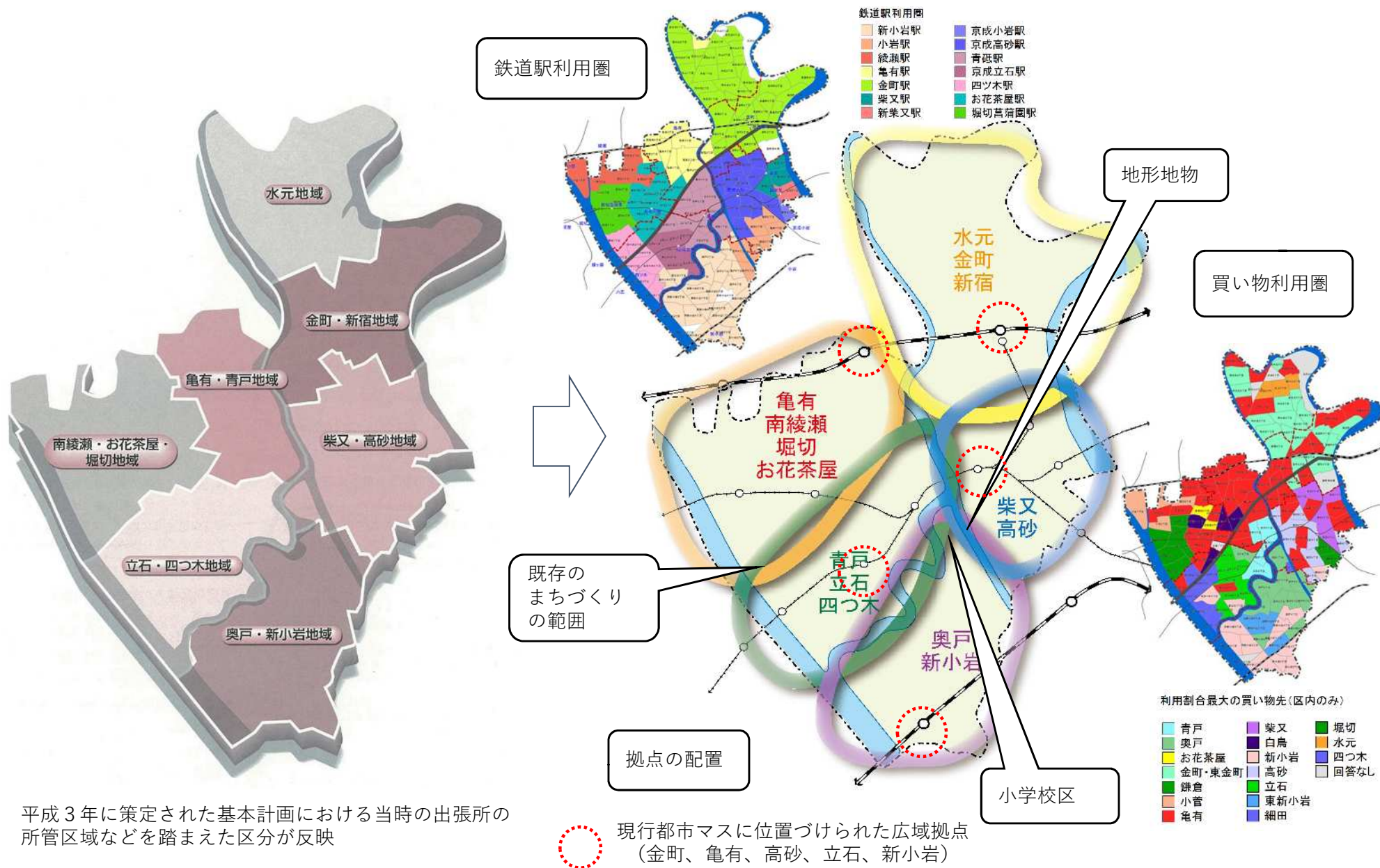
きわめて重要だ／重要だ／どちらともいえない／あまり重要ではない／まったく重要ではないの5択から、「きわめて重要だ」の回答者数を集計

葛飾区基本計画との役割分担を明確にし、再掲による複雑化や細分化による方針ごとの内容の希薄化を避けるため、都市整備に深く関連する事項に限定し、「都市計画の方針」として明快な構成に再編



- 防災まちづくりの方針**
 - (1) 震災への対応
 - (2) 水害への対応
 - (3) 防災拠点等の整備
- 土地利用の方針**
 - (1) 土地利用の考え方
 - (2) 計画的な土地利用誘導
- 市街地整備の方針**
 - (1) 計画的な市街地整備の推進
 - (2) 良好な住宅市街地、魅力ある市街地の形成
- 交通体系整備の方針**
 - (1) 体系的・機能的な道路網の形成
 - (2) 公共交通の利便性向上
 - (3) 安全・快適な歩行・自転車走行環境の整備
- 緑と水辺の整備、景観形成の方針**
 - (1) 緑の保全・整備の考え方
 - (2) 魅力ある都市公園・水辺空間の整備・充実
 - (3) 景観形成の考え方
- 復興まちづくりの方針**
 - (1) 復興まちづくりの目標・基本方針
 - (2) 復興まちづくりの進め方
 - (3) 復興まちづくりに向けた事前準備

7つの地域区分から、地形地物、駅勢圏や生活圏など都市計画の視点を重視し、5つの地域区分へ再編



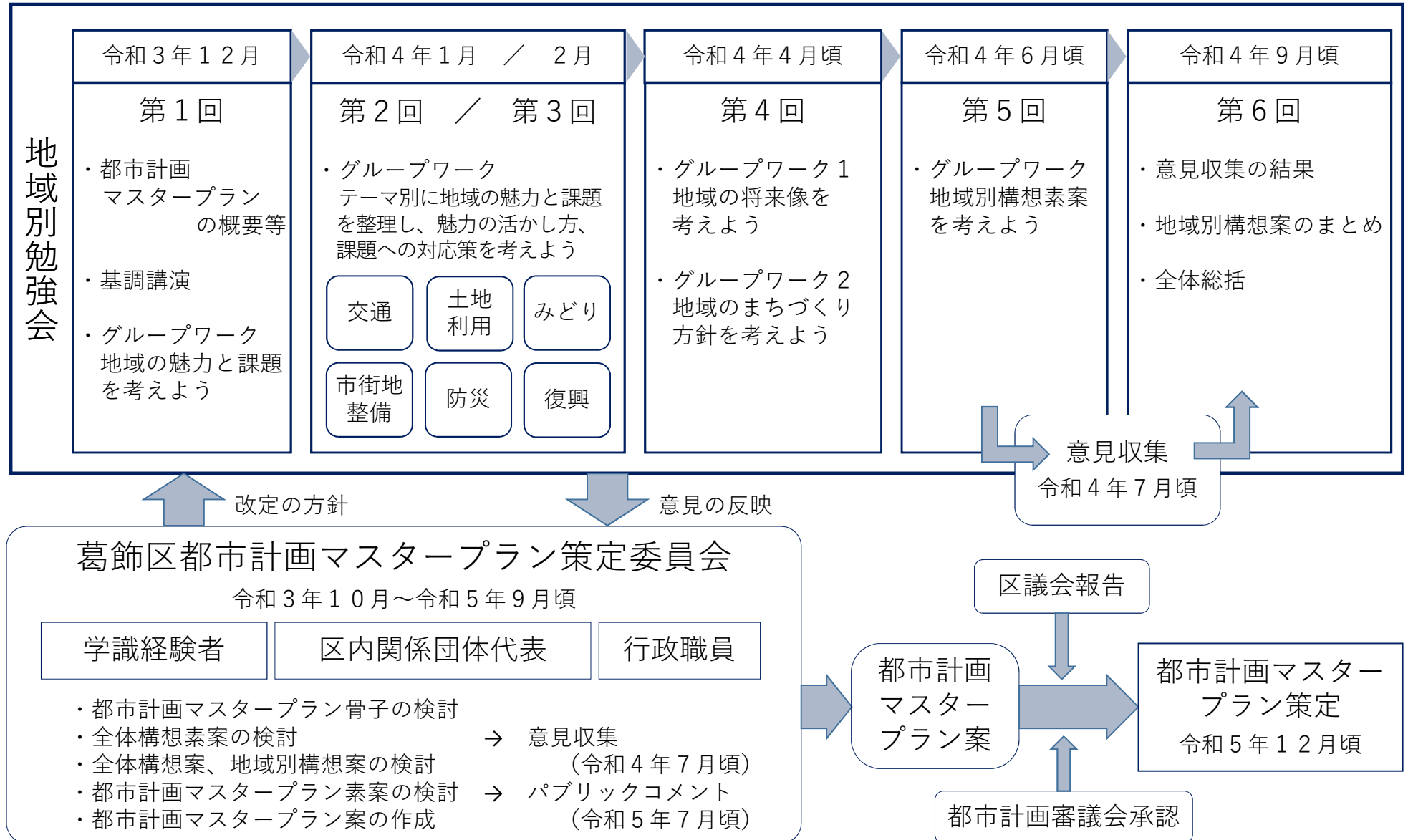
平成3年に策定された基本計画における当時の出張所の所管区域などを踏まえた区分が反映



葛飾区都市計画マスタープラン改定のスケジュール



地域別勉強会では、地域別構想案を作成するために、令和4年9月頃までに全6回開催し、地域の魅力や課題について考えていきます。その検討状況を踏まえ、葛飾区都市計画マスタープラン策定委員会において、葛飾区都市計画マスタープランの案を作成し、議会報告等を経て、令和5年の策定を目指します。



基調講演

都市マスと地域別まちづくり構想
東京都立大学・首都大学東京 名誉教授
中林 一樹 氏

基調講演

地域主体のエリアマネジメントとプレイスメイキング

日本大学 理工学部建築学科 助教

泉山 墨威 氏

座学②

- ・ 地域別勉強会の進め方
- ・ 各地域の特徴（基本情報、区民アンケート結果）

地域別勉強会の進め方

■ 目的

葛飾区都市計画マスタープランの改定にあたり、地域の皆さまのご意見を反映することを目的として「地域別勉強会」を開催します。

主に、地域別構想(各地域の将来像、まちづくり方針)にご意見を反映していきます。

■ 参加者 (合計114名)

①水元・金町・新宿 (22名)

②柴又・高砂 (23名)

③亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋 (22名)

④青戸・立石・四つ木 (28名)

⑤奥戸・新小岩 (19名)

自治会／街づくり協議会からの推薦のほか、公募で15名参加

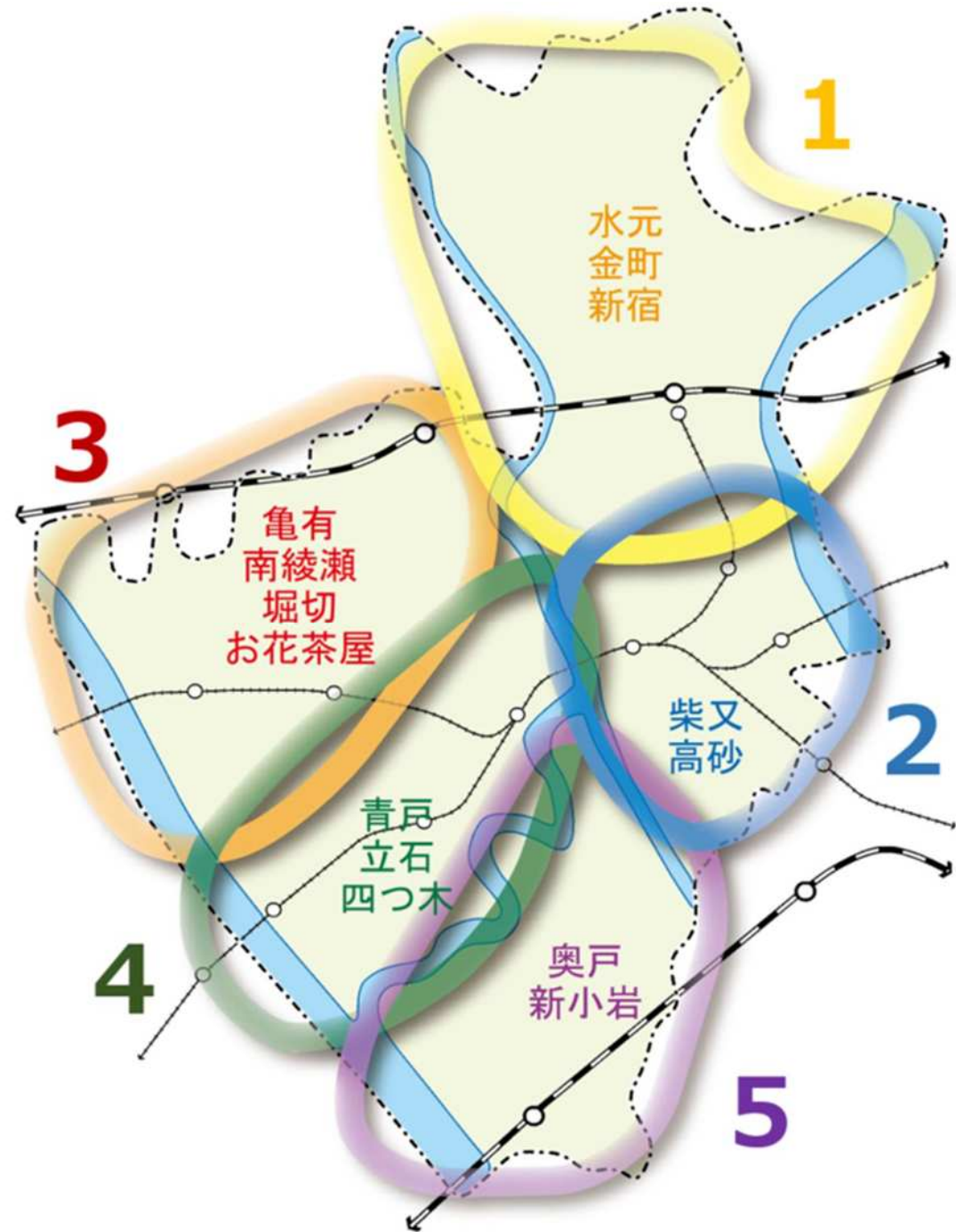
5つの地域区分 (案)

現在の都市マスの、
7地域に区分



以下の点を踏まえ、
実際の生活圏に近い
5地域に変更予定

- 町丁目
- 小学校区
- 地形地物(河川、道路等)
- 鉄道駅利用圏
- 買い物利用圏 等



地域別勉強会の進め方

■ 開催スケジュール

	日程	議題
第1回	令和3年 12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・座学①:都市マスの概要など ・学識経験者による基調講演 ・座学②:勉強会の進め方、各地域の特徴
第2回	令和4年 1月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力・課題、整備方針の検討 (テーマ:土地利用、交通、緑・景観)
第3回	2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力・課題、整備方針の検討 (テーマ:市街地整備、防災、復興)
第4回	4月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の将来像、まちづくり基本方針の検討
第5回	6月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別構想(案)の検討
第6回	9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別構想のとりまとめ ・全体総括、今後の進め方について

各地域の特徴 | 基本情報

	面積 ha	人口人 (人口密度 人/ha)	世帯数 世帯	0-14歳人口 構成比%	15-64歳人口 構成比%	65歳以上人口 構成比%
水元・金町・ 新宿	1,049	101,863 (97.1)	43,843	12.9	61.8	25.2
柴又・高砂	446	61,916 (138.8)	28,025	11.2	62.5	26.4
亀有・南綾瀬・ お花茶屋・堀切	805	118,268 (146.9)	54,247	11.5	64.6	23.9
青戸・立石・ 四つ木	578	80,805 (139.8)	37,315	11.8	63.4	24.8
奥戸・新小岩	606	80,061 (132.1)	37,756	11.4	65.2	23.4

各地域の特徴 | 人口・世帯

水元・金町・新宿地域

- 人口密度が最も低い
- 子供(※1)のいる世帯割合が最も多い

柴又・高砂地域

- 昼間人口が最も少ない
- 人口が、区内で唯一減少した
- 5年前の常住地は、現住所が最も多い

亀有・南綾瀬・お花茶屋・堀切地域

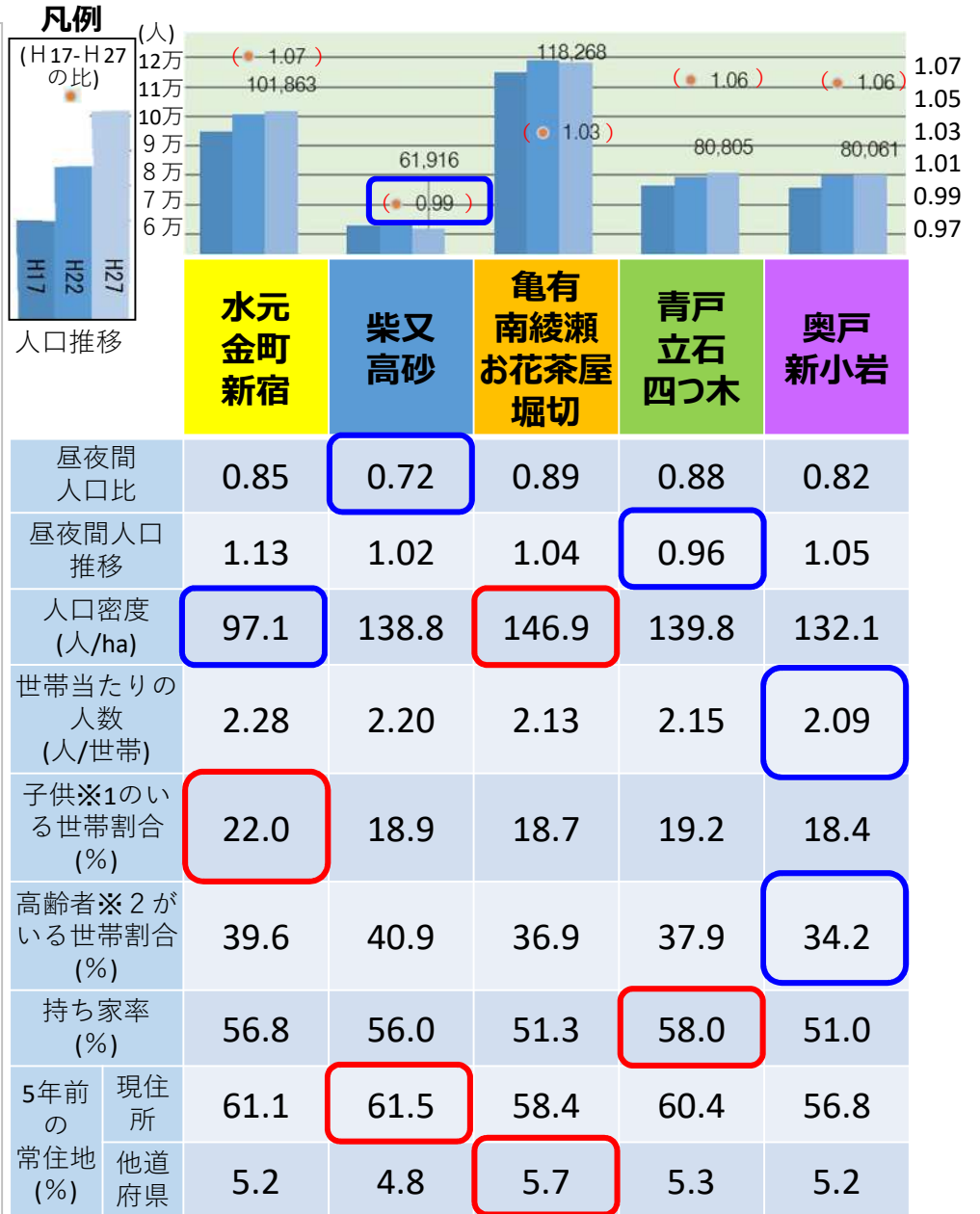
- 人口密度が最も高い
- 5年前の常住地は、他道府県の割合が最も多い

青戸・立石・四つ木地域

- 昼間人口推移が唯一減少
- 持ち家率が最も多い

奥戸・新小岩地域

- 世帯当たりの人数が最も少ない
- 高齢者(※2)のいる世帯割合が最も少ない



※1 18歳未満 ※2 65歳以上

各地域の特徴 | 土地利用

水元・金町・新宿地域

- 公園・運動場等の面積割合が最も多い
- 商業系用途地域の割合が最も少ない

柴又・高砂地域

- 住宅用地の面積割合が最も多い
- 住居系用途地域の割合が最も多い

亀有・南綾瀬・お花茶屋・堀切地域

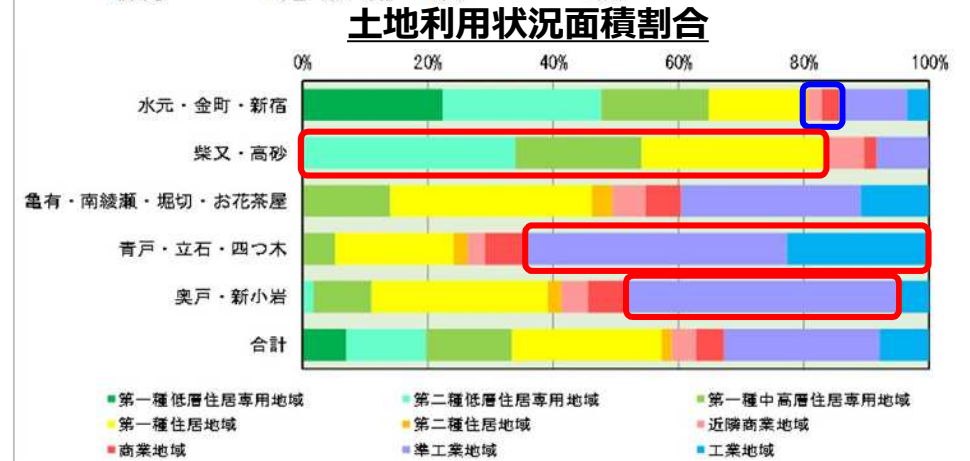
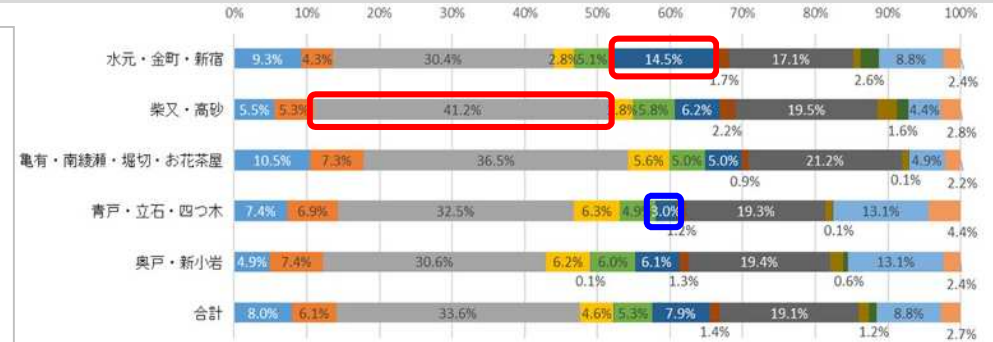
- 空家数が最も多く、空家率が最多(同率)

青戸・立石・四つ木地域

- 公園・運動場等の割合が最も少ない
- 工業系用途地域の割合が最も多い

奥戸・新小岩地域

- 準工業地域の用途地域指定割合が最も多い



空家数及び空家率

■用途地域：計画的な市街地を形成するために、市街地の大枠の土地利用（住居系8種類、商業系2種類、工業系3種類）を定めるものです。用途地域の指定により、建物の種類や大きさなどが制限されます。

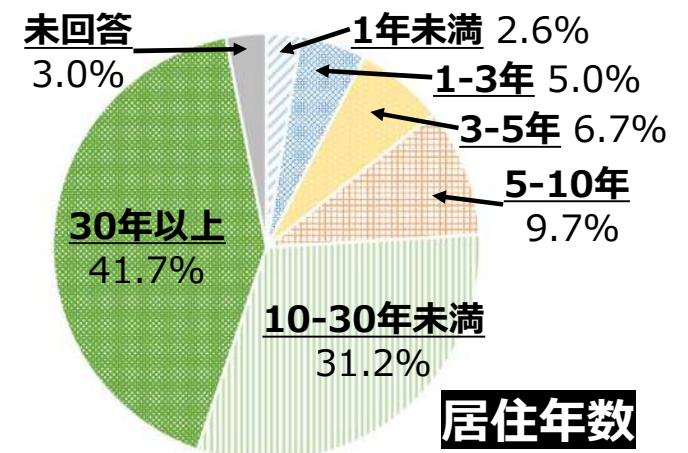
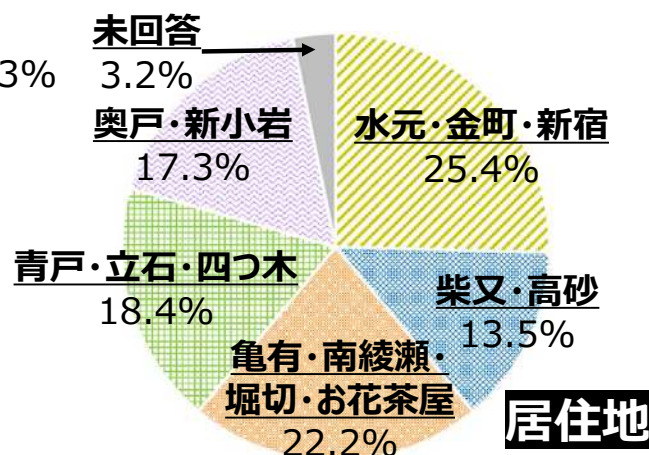
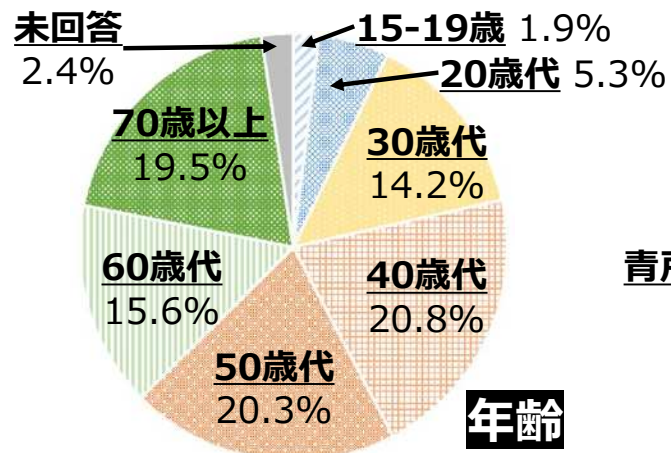
各地域の特徴 | 区民アンケート結果

■ 区民アンケートの実施概要

令和2年度に区民アンケートを実施しました。

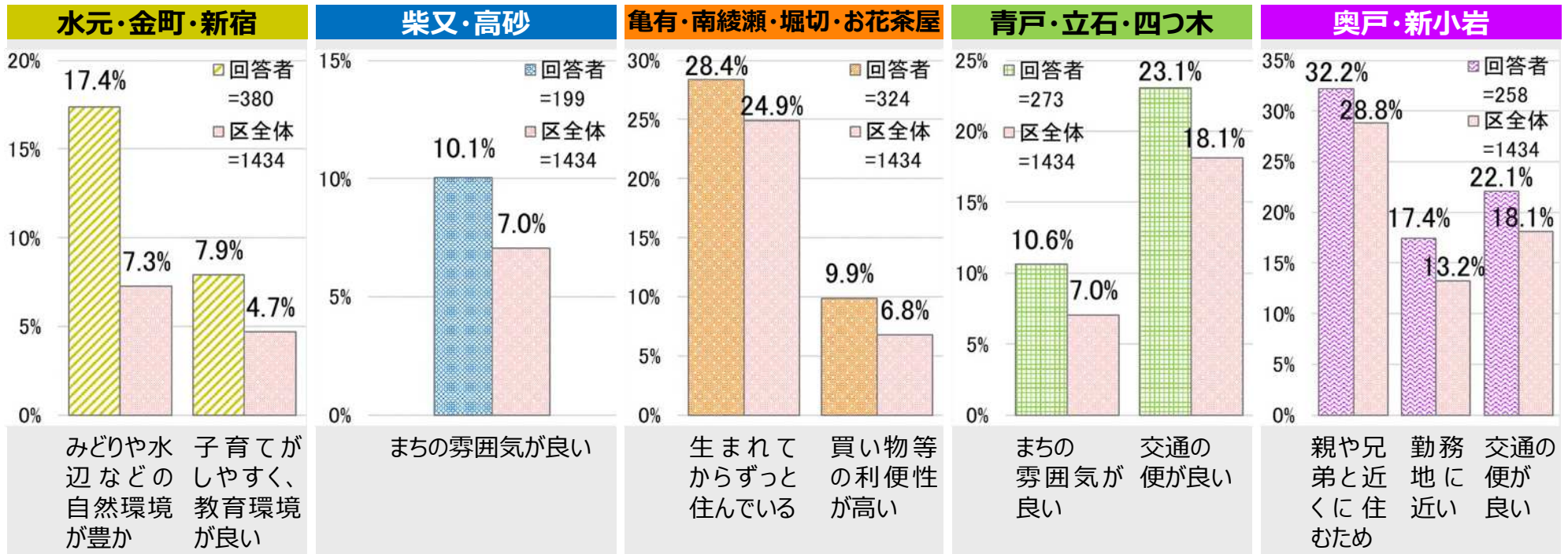
区民アンケート結果を基に、各地域の区民意向を抜粋してご紹介します。

方法	アンケート調査(郵送配布、郵送回収)		
時期	令和2年8月12日～9月25日		
対象者	区内在住15歳以上の世帯主6,000人(住民基本台帳から無作為抽出) ※世帯主宛に郵送し、世帯構成員の最大3名まで回答可能とした		
回収数	1,011世帯／回収率16.9%	回答数	1,542名



現在の地域に住んでいる理由

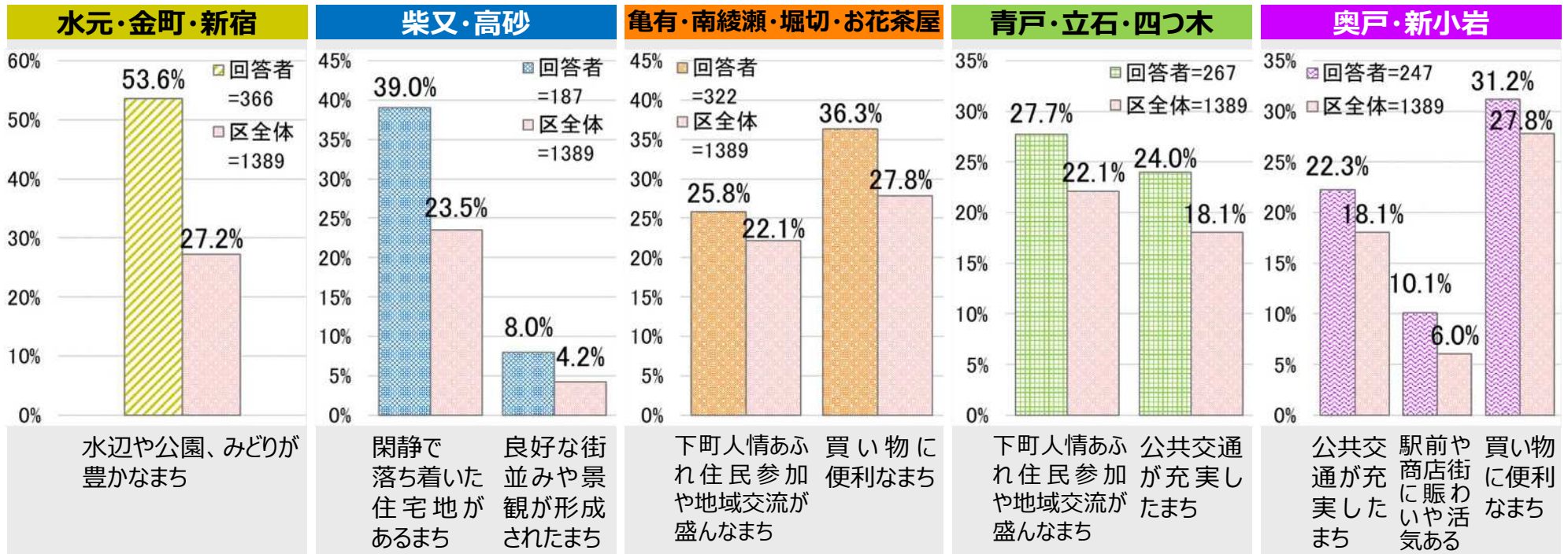
水元・金町・新宿	◎ みどりや水辺などの自然が豊か ◎ 子育てしやすい
柴又・高砂	◎ まちの雰囲気が良い
亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋	◎ 生まれてからずっと住んでいる ◎ 買い物等の利便性が高い
青戸・立石・四つ木	◎ まちの雰囲気が良い ◎ 交通の便が良い
奥戸・新小岩	◎ 親や兄弟と同居または近くに住むため ◎ 勤務地に近い ◎ 交通の便が良い



※1 区全体の回答割合より+3%以上の差がある選択肢を抽出してグラフを作成しています。詳細は、参考データの集計表を参照。

現在の地域のイメージ

水元・金町・新宿	◎ 水辺や公園、みどりが豊か
柴又・高砂	◎ 閑静で落ち着いた住宅地 ◎ 良好な街並み
亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋	◎ 下町人情あふれる ◎ 買い物に便利
青戸・立石・四つ木	◎ 下町人情あふれる ◎ 公共交通の充実
奥戸・新小岩	◎ 公共交通の充実 ◎ 買い物に便利 ◎ 駅前や商店街の賑わいや活気



※1 区全体の回答割合より+3%以上の差がある選択肢を抽出してグラフを作成しています。詳細は、参考データの集計表を参照。

20~30年後の地域の将来像

水元・金町・新宿

◎ 公共交通の充実 ◎ 良好な街並み

柴又・高砂

◎ 下町人情あふれる ◎ ゆとりのあるまち

亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋

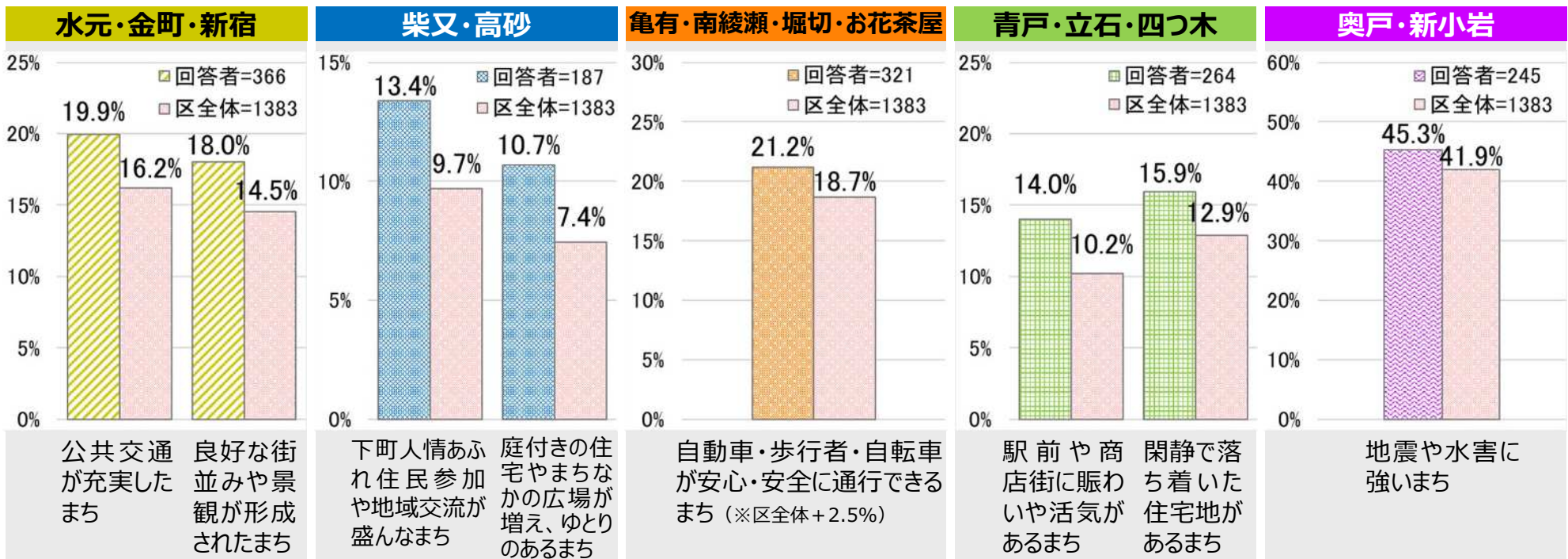
◎ 自動車・歩行者・自転車が
安心・安全に通行できるまち

青戸・立石・四つ木

◎ 駅前や商店街の賑わいや活気
◎ 閑静で落ち着いた住宅地

奥戸・新小岩

◎ 地震や水害に強い



※1 区全体の回答割合より+3%以上の差がある選択肢を抽出してグラフを作成しています。詳細は、参考データの集計表を参照。

区の魅力、今後活用すべき施設・文化

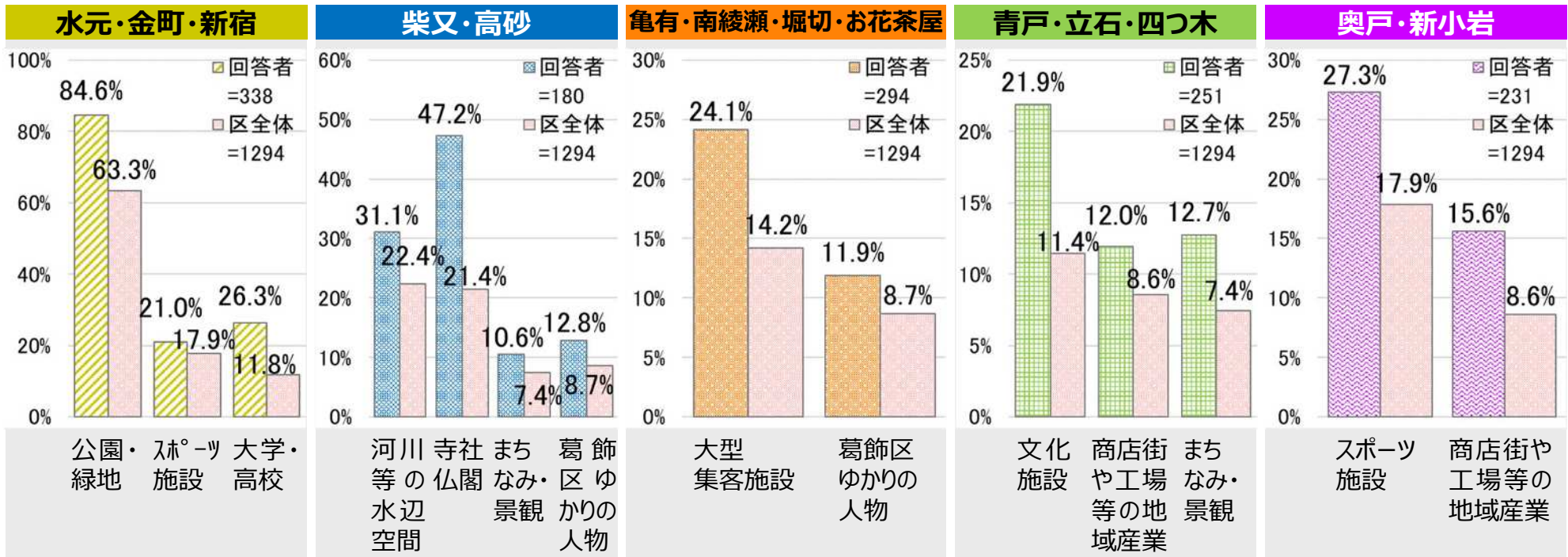
水元・金町・新宿 ◎公園・緑地 ◎スポーツ施設 ◎大学・高校

柴又・高砂 ◎河川等の水辺空間 ◎寺社仏閣
◎まちなみ・景観 ◎葛飾区ゆかりの人物

亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋 ◎大型集客施設
◎葛飾区ゆかりの人物

青戸・立石・四つ木 ◎文化施設 ◎商店街等の地域産業 ◎まちなみ

奥戸・新小岩 ◎スポーツ施設 ◎商店街や工場等の地域産業



※1 区全体の回答割合より+3%以上の差がある選択肢を抽出してグラフを作成しています。詳細は、参考データの集計表を参照。

地域のまちづくりの課題

水元・金町・新宿

- ◎ 商業・業務拠点の整備の遅延
- ◎ 公共交通が不便
- ◎ 歩行者等の交通環境が悪い 等

柴又・高砂

- ◎ 駅周辺に生活に必要な施設・サービスの不足 等

亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋

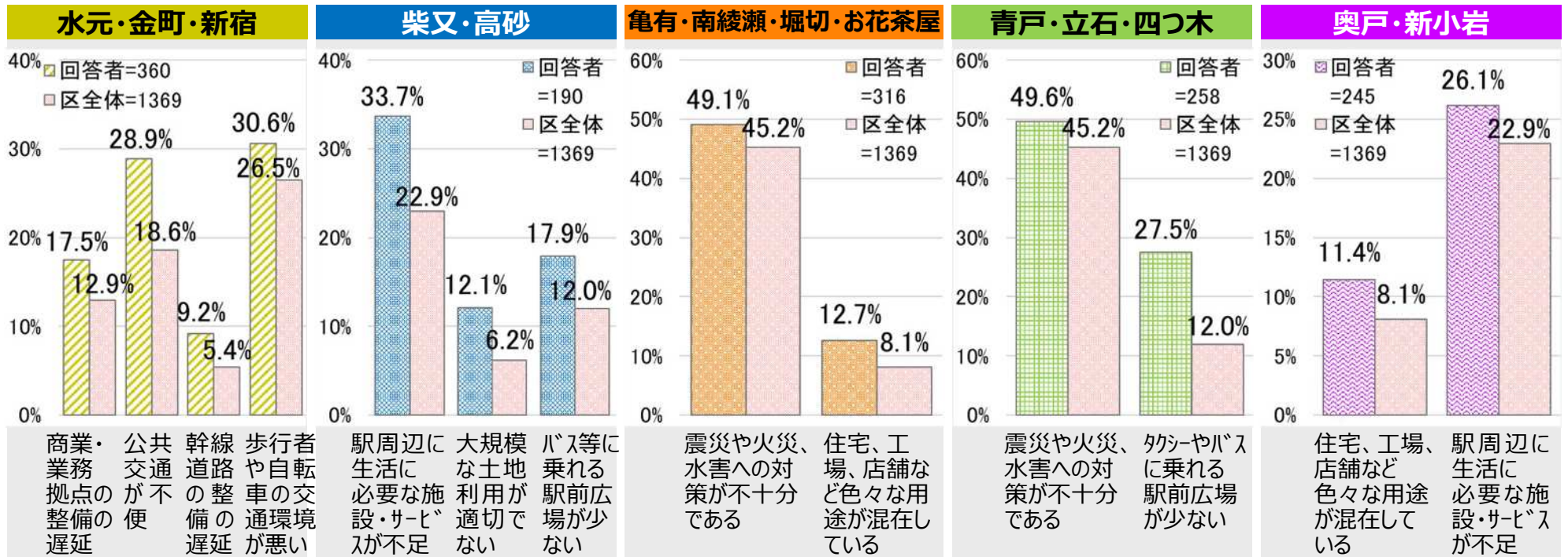
- ◎ 災害対策の不足（震災や火災、水害）
- ◎ 住宅、工場、店舗など色々な用途の混在

青戸・立石・四つ木

- ◎ 災害対策の不足
- ◎ 駅前広場の交通機能不足

奥戸・新小岩

- ◎ 駅周辺に生活に必要な施設・サービスの不足 等



※1 区全体の回答割合より+3%以上の差がある選択肢を抽出してグラフを作成しています。詳細は、参考データの集計表を参照。

グループワーク

地域の魅力や課題の抽出

グループワークの流れ

1. 参加者の自己紹介（10分）

- 一人30秒程度で簡単に自己紹介をお願いします。
◎名前 ◎居住地 ◎所属団体 など

2. 個人ワーク（10分）

- ふせんに、お住まいの地域の**魅力**、**課題**、**その他の意見**を記入してください。
- 1つのふせんに、1つの意見をお願いします。

3. 個人意見の発表（15分）

- 自分が記入したふせんの内容を、グループ内で発表して共有しましょう（一人1分程度）。

ふせんの種類



魅力



課題



その他

※ 1つのふせんに、1つの意見を記入してください

記入例

魅力

課題

その他

テーマ	魅力	課題
交通	◎ 公共交通網が充実している	▲ 歩行者や自転車が安全・快適に利用できる環境がない
土地利用・市街地整備	◎ 住宅・店舗・農地が調和して暮らしやすい住環境である ◎ 駅周辺にふさわしい機能が集まっている	▲ 住宅と工場が混在し、暮らしづらい住環境になっている ▲ 徒歩や公共交通で利用できる場所に日常生活に必要な機能がない
緑・景観	◎ 民有地の緑が保全されている ◎ 水辺を活かした景観がある	▲ 身近な公園が不足している ▲ 地域の特色を活かした魅力的な景観が形成されていない
防災・復興	◎ 高台の避難場所の整備など、浸水への対策が行われている	▲ 火災の延焼が心配である ▲ 震災復興の事前準備がない

※ 1つのふせんに、1つの意見を記入してください

個人意見の発表

	青戸地区		
	魅力	課題	その他
交通 (道路、公共交通等)			
土地利用・市街地整備 (駅前広場、再開発、住宅地、工場跡地等)			
緑・景観 (公園、農地、水辺、景観)			
防災・復興 (浸水、地震、模擬訓練、事前復興準備等)			
その他			

自分のふせんを発表しながら、模造紙に貼り付けてください

事務連絡

■ 勉強会ニュースの発行

本日の概要を整理した「勉強会ニュース」を作成し、次回の開催通知と一緒に郵送します。

■ 第2回勉強会

地域ごとに開催時間が異なるためご注意ください

令和4年1月15日（土）@男女平等推進センター

【午前の部】 9時30分～12時

◎奥戸・新小岩 ◎青戸・立石・四つ木

【午後の部】 14時30分～17時

◎水元・金町・新宿 ◎柴又・高砂
◎亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋

■ アンケート回答のお願い

次回の出欠を確認するアンケートにご回答ください

閉会

本日はありがとうございました
お手元のアンケートにご回答ください